

2024年4月2日

伊藤ハム米久プラント株式会社 東北工場の購入電力 100%実質再生可能エネルギー化

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社（東京都目黒区：代表取締役社長 宮下功）の子会社 伊藤ハム米久プラント株式会社（千葉県柏市：代表取締役社長 久次米忠宣）は、同社東北工場の購入電力を2024年4月から100%実質再生可能エネルギーに切り替えることをお知らせします。

東北工場は、伊藤ハム米久ホールディングスグループの生産拠点の中でも電力使用量の多い事業所の一つであり、この切り替えに伴い、年間約18,000MWh（グループ全体の電力購入量の約4%に相当）の使用電力を実質再生可能エネルギー化し、年間約9,000t（グループ全体のGHG排出量の約2.5%）相当のCO2排出量を削減することが可能となります。

今回導入する電力は、MCリテールエナジー株式会社（東京都千代田区）から供給を受ける、非FIT非化石証書を組み合わせた実質再生可能エネルギー電力です。

なお、伊藤ハム米久ホールディングスグループは、マテリアリティとして「地球環境への配慮」を特定し、2030年度までに温室効果ガス排出量を2016年度比半減する目標を掲げ、さまざまな排出削減取り組みを推進しています。今回の取り組みのほか、グループ会社の伊藤ハム米久フーズ株式会社（兵庫県西宮市）の六甲工場で屋根置き太陽光発電設備を導入したほか、北陸工場でボイラーの燃料転換を実施するなど、取り組みを進めています。今後もあらゆる方法により温室効果ガス排出量の削減に努め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



六甲工場の太陽光パネル



北陸工場のボイラー燃料転換

本リリースに関するお問い合わせ先

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社  
広報IR室 広報チーム 北垣、眞島  
Tel:03-5723-6889 Fax:03-5723-8618